

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	嘉麻市			代表者名	赤間 幸弘
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル戦略課	連絡先電話番号	0948-42-7420
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	古賀 義宏	連絡先E-mail	
住所	820-0292 福岡県嘉麻市1180番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	情報システム標準化事業
概要	令和7年度末までに国が定める標準仕様書に基づく新システムの構築及び移行について、確実かつ円滑に遂行できるよう、職員意識醸成、対ベンダー折衝などへの助言をいただきたい。		
支援を求める分野	自治体システム標準化・共通化		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	420	令和7年2月5日	講演	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年6月30日	支援・助言(実地)	13時00分	16時00分	30
			活動時間(分)	150	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 英幸
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今回の講演については、情報システム標準化検討委員会(管理職対象)と情報システム標準化検討担当者会議(一般職員)対象の2部構成とし、講師より各対象者に対して違ったアプローチで講演していただいた。標準化移行について、管理職には職員へ過度な負担が生じないマネジメントを行うこと、一般職員には一人ではなく、チームで対応するなど、全庁一丸となり標準化を進めていくことが重要であることが分かり、標準化への意識醸成に図ることができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	30人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	30				

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	令和7年度末と期限が決まっているシステム標準化への移行であるが、度重なる国の法改正、仕様書の改版等にて、各ベンダーに負担が生じ、当初移行スケジュールの変更もやむなく、各課の負担も生じている。このような影響から他自治体では移行困難な自治体も発生しており、システム標準化移行に係る経費への補助についても、本市においては現在全額補助対象となっていないため苦慮している状況である。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	①遅滞なく期限までにシステム標準化への移行 ②標準化移行に係る経費が適正価格なのかの精査 ③全庁一丸となって標準化移行へ取り組むための意識醸成

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	システム標準化に係る講演(管理職対象、一般職員対象) DX推進を踏まえて、標準化に至るまでの経緯を説明していただき、標準化への対応などについて、懇切、丁寧にお話ししていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	システム標準化に対する職員の意識醸成。特に管理職については、各課職員に過度な負担が生じないように対応する旨、検討委員会の委員長(副市長)より指示があり、職員一丸となって標準化移行へ対応していくマインドの改善が図れた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 当面の目的であるシステム標準化への意識醸成が図れた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 検討委員会を開催し、情報共有を図ることができたため、アンケートは実施しなかった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 令和7年度末までに嘉麻市、国、各ベンダーと十分に連携を図り、庁内においても職員一丸となり、確実に情報システム標準化の移行を遅滞なく行う。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	令和6年度内に予定している各ベンダーとのシステム構築等がスケジュールどおり完了すること 国が定めた標準仕様書を準拠し、情報システム標準化を遅滞なく推進することで、住民の諸手続きの簡素化及び住民サービスの向上を図る。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

